

## 紙芝居で対話しよう！（3歳児）



5月になりました。入園して1か月が経過です。

そろそろ新入の子どもたちも幼稚園に慣れてきましたか？

本園の子どもたちも先生がしてくれることを楽しみに待つようになってきましたよ。

子どもたち、片付けた後に先生の周りに集まることができるようになってきました。いよいよ紙芝居の読みきかせもできるようになりました。

さて、3歳児の紙芝居ですが**単純なものが1番**です。

本園ではお膝に抱っこして読むような小さな絵本を参考に、実習生に拡大して描いてもらって使用しています。

**この時期におすすめ**なのは「せなけいこ」さんのシリーズです。「もじゃもじゃ」「いやだいやだ」「あーんあん」「にんじん」など、**等身大の3歳児がそこにはいます**。そこで「あら～？泣いてるね？どうしたのかね～？」と絵を見て語りかけたり問いかけたりしていくのです。自分の気持ちを素直に出せるのですが、そこはイッチョマエの3歳児、自分の姿とは思わないところもおかしいです。さっきまでかたづけもしないで「いやだいやだ」を言っていた子も、「幼稚園には『いやだいやだ』の子はいないかな～？」と問いかけると、「いな～い」と即答。まさに力が抜ける思いですが、そこが3歳児のかわいいところでもありますね。